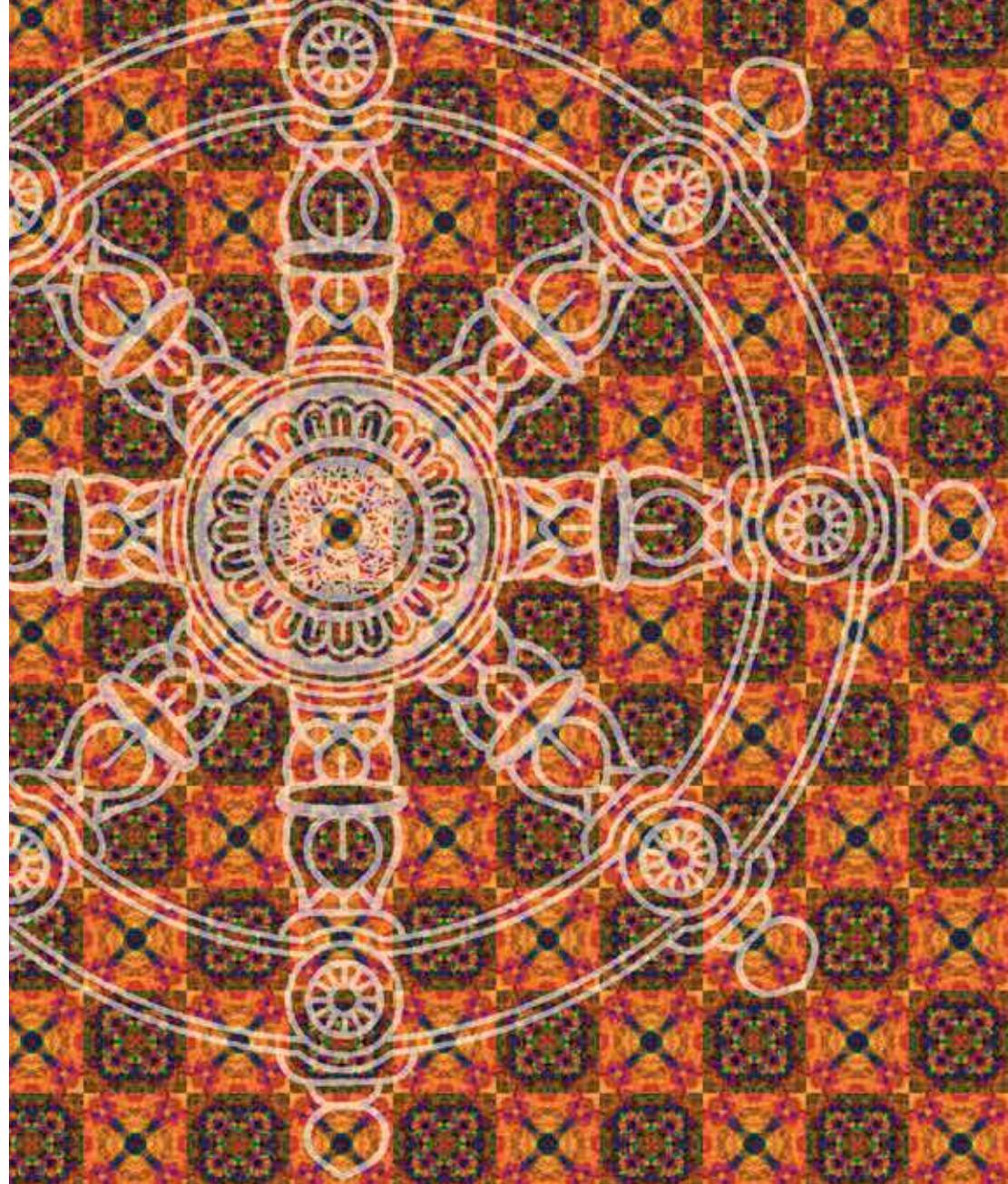


道

みち

財団法人 仏教伝道協会

No.01
2011



BDK
Newsletter



2011年3月11日（金）に発生した東日本大震災により多くの方の尊い命が失われたことに、深い哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

当財団では設立以来、「仏教聖典の現代語訳および外国語訳とその普及」「大蔵経の英訳とその刊行」「世界の主要大学への仏教講座の開設」を事業の柱として、各種仏教精神文化の啓蒙活動を展開致しております。お陰さまでこれらの事業も多くの皆さまのご賛同ご協力を賜り、着実にそのあゆみを進めております。仏教伝道協会は特定のご宗旨の教義を説くのではなく、仏教

の説く東洋の叡智を一人でも多くの世界の人びとに伝えるための団体であり、この目的に向かってあらゆる活動や事業を推進し、最終的には、人類の相互理解と、世界平和の確立とを願っている団体であります。この度はこのような事業をより多くの方がたにご理解いただくべく、更なる飛躍を目指し『BDK Newsletter 道（みち）』を刊行させていただく事となりま

した。今後とも『仏教聖典』を中心とする仏教精神文化の普及活動にご支援、ご協力のほどを、お願い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心から願っております。

合掌

財団法人 仏教伝道協会

会長 沼田智秀

財団法人 仏教伝道協会

(2011年度の主な活動)

- BDK 東日本大震災復興団体助成金制度の設置と交付2
- 『仏教聖典』の頒布と協会書籍の刊行状況3
- 第18回東京国際ブックフェア4
- 第45回 仏教伝道文化賞4
- 第41回 実践布教研究会5
- 財団法人 仏教伝道協会 外国人留学生奨学金制度
- 今後の展望 ～2011年度受給者インタビュー～6

世界における 仏教伝道協会 拠点紹介

アジア圏

- 日本9
- 台湾9
- シンガポール10

北米圏

- アメリカ10
- メキシコ11
- ハワイ11
- カナダ12

南米圏

- ブラジル12

欧州圏

- ドイツ13
- イギリス14

海外拠点 主要ニュース2011

- 東日本大震災追悼式典・チャリティーイベント（ドイツ）15
- 日独修好150周年記念行事（ドイツ）16
- 茶室【茶えん】開業（メキシコ）16
- 沼田智秀会長 IBS より名誉博士号を授与（アメリカ）17
- 第1回沼田智秀仏教書籍最優秀賞受賞者決定（アメリカ）17



仏教伝道協会の紹介

財団法人 仏教伝道協会は株式会社 ミットヨ創業者 沼田惠範氏の発願により、昭和40年（1965年）12月、有縁の方がたのご協力により設立されました。当財団では設立以来、仏教精神の現代的理解の促進と振興、内外仏教徒間の交流、人類の平和なる社会の実現に貢献すべく、『仏教聖典』の現代語訳および外国語訳とその普及、大蔵経の英訳とその刊行、世界主要大学への仏教講座開設を事業の柱として参りました。さらに、『仏教聖典』の世界各国主要ホテル客室や病院などへの寄贈をはじめとし、留学生への奨学金支給、仏教伝播の調査研究とその支援や欧文仏教研究資料のデータベース化の支援、並びに伝道拠点の拡充を推進しております。また、仏教伝道文化賞の贈呈、実践布教研究会の開催、仏教音楽の現代化とその普及、仏教講演会や仏教聖典講座の開催、幼稚園・保育園・学校における宗教教育の一助など、より多くの方がたに仏教精神をご理解いただくため各種伝道活動を展開しています。

財団法人 仏教伝道協会

(2011年度の主な活動)

BDK東日本大震災復興団体助成金制度の設置と交付

「BDK復興支援団体助成金」は平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災以降、被災者支援を行った、または行う予定のある(申請時点で活動予定が明確である)、仏教精神によって設立された団体(寺院等)に対して助成金を交付し、公益団体を援助することによって、被災者をはじめとする市民の利益増進をはかることを目的とし設置されました。申請の募集は平成23年(2011年)6月1日より開始し同7月31日に締め切らせていただきました。締切までに全国各地86団体か

らの応募をいただき審議委員会での審議の結果、内75団体へ助成金(合計1,200万円)の交付が完了致しました。

交付完了後は各団体より様々な御礼のお便りを頂戴致しました。中でも高野山真言宗弘法寺様(宮城県大崎市)では震災直後から精力的に被災者、ボランティア団体他への支援を行い現在もその活動期間を限定せず活動されている方がたの拠点となつて様々な支援を継続しております。

仏像修理ボランティアや傾聴活動

など寺院ならではの活動はもとより理美容師によるケアや化粧品品の分配など市民の目線に立った活動も行っています。また炊き出しや食材の宅配・救済物資の受け取りや配布の代行、それに伴い檀信徒会館を物資保管場所として開放し被災者の宿泊場所としても利用していただいているそう、高野山真言宗の僧侶や檀信徒による「足湯隊」(避難所などに暮らす被災者1人ひとりへ丁寧に足湯のサービスを提供)などの活動を支援し、さらには被災地にプランターに植えた花を贈るなど傷ついた心に

寄り添った活動にも力を注いでおられます。助成金交付後は代表役員である大坪龍勝師よりご丁寧に御礼のご連絡を頂戴致し、また本誌にてご紹介させていただくにあたり快くご協力下さいました。

仏教精神を軸にこのように誠意をもって地域に貢献し積極的に活動されている団体への助成を通じ被災者の皆さまのお役に立てることを協会職員一同切に願っております。



(写真提供：弘法寺)

『仏教聖典』の頒布と協会書籍の刊行状況

『仏教聖典』頒布状況（平成22年度・2010年度実績）

仏教伝道協会がこれまで頒布してきた『仏教聖典』は、翻訳言語数46言語、累計発行部数約79.5万冊に及んでいます。

日本国内では、ホテル・病院への寄贈、学校・寺院および一般個人への販売を通じて頒布を行っております。特にホテルへの寄贈を主軸として参りましたが、近年、外

資系高級ホテルの進出による既存ブランドホテルとの競合激化、ビジネスホテル業界の新旧交代の加速など日本国内のホテルを取り巻く環境は大きく変化しております。経費削減のための室内備品簡素化・宗教色排除等の理由により聖典寄贈も厳しい環境に置かれておりますが、東日本大震災によ

り人間としての「心のあり方」が問い直される中、仏教に対する関心が高まっていることも事実です。このようなニーズに応えるためにも頒布の新たな方法を模索し、現在、寺院に併設される参拝者や観光客などが利用可能な宿坊などへの寄贈活動にも力を入れております。

国内販売では、仏教的情操教育の一助として高校・大学等の入学式・卒業式に『仏教聖典』を記念品として配布いただいております。平成22年度（2010年度）は、龍谷大学（浄土真宗）、愛知学院大学（曹洞宗）、花園大学（臨済宗）はじめ19校でご利用いただきました。その他に書店から

の取次注文、寺院および個人からの注文を含め、約29,000冊を販売致しました。電話による注文が主ですが、インターネットによる注文も徐々に増加してきております。

一方、『仏教聖典』に対する海外からの関心も年々増加しており、それに応えるため海外向けの寄贈活動にも力を入れております。平成22年度（2010年度）は、主に

Eメールと手紙により56カ国より300件を超えるお問い合わせをいただき、インドの人権団体 The All India Backward And Minority Communities Employees Federation の国際大会参加者への寄贈（英語版500冊・ヒンディ語版500冊）など計約1,400冊を寄贈致しました。

英訳大蔵経と大正新脩大蔵経テキストデータベース（通称：SAT）との連携

東京大学教授 下田正弘氏（SAT代表）より、「大蔵経研究推進会議」への参画要請がありました。この会議は、日本におけるさまざまな仏典のデータベース事業を将来にわたって継続的に支援・推進し、世界の仏教研究を牽引する次世代の電子大蔵経を構築することを目的とした連絡会議です。仏教伝道協会は本会議の主旨に賛同し、当協会の英訳大蔵経編集委員会の前田専学委員長に本会議の非常

任議員に就任していただきました。

また、連携の一環として、現在までBDKアメリカのホームページで公開されている英訳大蔵経のデータをSAT上にて対訳公開するプロジェクトを進めています。このプロジェクトにより、研究者への更なる利便性が確保されるだけでなく、大蔵経英訳への仏教伝道協会の取り組みを広く知っていただくことが出来ます。（来春公開予定）

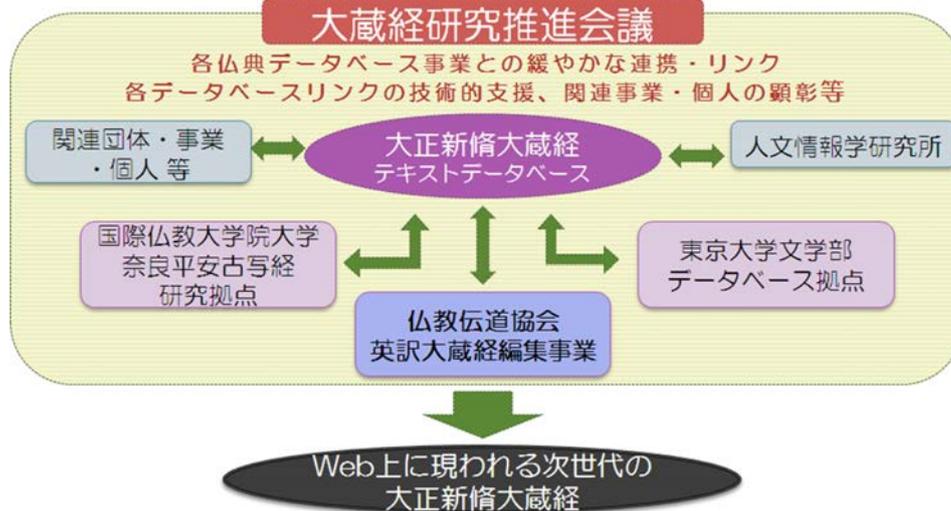
＜2010年度の頒布状況＞

| | | 件数 | 寄贈冊数 | 販売冊数 |
|--------|---------|-----|--------|--------|
| 国内 | ホテル（新規） | 151 | 11,461 | |
| | ホテル（補充） | 127 | 7,522 | |
| | 病院 | 16 | 322 | |
| | 学校 | 19 | | 11,171 |
| | 寺院 | 149 | | 13,520 |
| | 一般他 | 267 | | 1,564 |
| | 書店 | | | 2,402 |
| 国内頒布数計 | | | 19,305 | 28,657 |
| 海外 | ホテル | 6 | 990 | |
| | その他 | 45 | 1,361 | |
| | 海外頒布数計 | | 2,351 | |
| | | | 21,656 | 28,657 |
| 総計 | | | | 50,313 |

仏教聖典国内ホテル向け寄贈状況



大蔵経研究推進会議



第18回東京国際ブックフェア

平成23年(2011年)7月7日(木)から10日(日)の4日間にわたり、第18回東京国際ブックフェアが、国際展示場にて開催されました。

日本全国の出版社が一堂に集

まり、書店との商談、

海外出版社

との著作権

取引、学校・

図書館・大

学などへの

販売促進

一般読者に

対する年に

一度の割引

販売などが

行われる出

版業界最大

のイベント

に仏教伝道

協会も出展

致しました。

ブースに

は世界46言語の『仏教聖典』、英

訳大蔵経』を展示、電子書籍版

『仏教聖典』や朗読CDなど手に

とって体験できるコーナーを設

け、テレビモニターには手話D

VDや協会の活動内容を常時放

映しました。又、通常書店では

購入できない『新々みちしるべ』シリーズ他も展示、販売致しました。その他、来場者に協会パンフレット、『一日一訓カレンダー』等を積極的に配布するなど多く



の方に『仏教伝道協会』の取り組み"をご紹介し、様々な形で『仏教聖典』に親しんでいただく良い機会となりました。ブースのデザインも落ち着いたイメージに仕上がっており、好評をいただきました。又、こ

の度、フェアでの売上金の20%を「東日本大震災」のチャリティとして寄付させていただきました。

来年度のブックフェアへの出展も予定しており、現在準備をすすめております。

第45回仏教伝道文化賞（文化賞概要と受賞者の紹介）

仏教伝道文化賞 / 仏教伝道功労賞

この二つの賞は、国内外を問わず、幅広い分野にて仏教伝道文化の発展に貢献された方がたの、その労に感謝し讃えようという意図から制定されました。毎年、仏教伝道文化賞選定委員会を開催し2名を選出、顕彰してまいりました。

文化賞は、下記の各項より選定し、功労賞は選定委員の推薦により贈られます。

- A項 研究 論文 著述 翻訳 踏査 出版 その他
- B項 文芸 美術 音楽 評論 その他
- C項 伝道者 実践者 その他

第45回 仏教伝道文化賞（平成23年：2011年）受賞者

平成23年(2011年)10月12日(水)午前11時より仏教伝道センタービル(東京都港区芝)にて贈呈式ならびに祝賀披露宴が執り行われました。受賞者は以下の通り。

仏教伝道文化賞 A項

信楽 峻磨 師

大正15年(1926年)広島県生まれ。永年、浄土教の研究に取り組み、親鸞思想を近代的視野で掘り下げ展開し、仏教の現代的意義を明らかにする。



仏教伝道文化賞 C項

アハンガマゲー・チューダー・アリヤラトネ氏

昭和6年(1931年)スリランカ・ゴール生まれ。仏教精神に基づいた農村開発活動であるサルボダヤ運動を展開し、その輪を世界に広め、成果を収める。





第41回実践布教研究会

(於 浄土真宗本願寺派 本願寺西山別院)

浄土真宗本願寺派本願寺西山別院にて実践布教研究会（平成23年・2011年6月8日～10日）が開催されました。全国各地よりお集まりいただいた各宗派の僧尼、寺族の方がた約60名の参加者が、2泊3日の研修を行いました。開催期間中はまず法然上人800年大遠忌を迎えた浄土宗総本山知恩院への参拝、西山別院では朝のお勤めに始まり昼は諸先生がたによる講義、夜は遅くまでテーマに沿って研鑽を深め、最終日には本願寺での親鸞聖人750回大遠忌法要にも参列、と充実した研究会となりました。

歩まれた道を現代に生きる伝道者たちが自ら体験し、聞・思・修一体となった仏道を体験して戴きたい、という願いから出発し、回峯行をはじめとした止観（坐禅）、写経等の実践、経験豊かな大先輩たちによる講義、そして、全国よりお集まりいただいた僧尼・寺族による研究討議―これらを通じて仏教伝道のあり方を考え、やがてそれぞれの地域へもどって、それらを各自が具体的な形で布教・伝道に用いていくことこそが、本会の目的です。又、み仏の教えを伝えようと志す者は、まず身をもって仏教の実践行に精進するべきであり、それによつてこそ、はじめて一般大衆にも真の仏教の姿を伝えることができるといえます。

にご参加いただき、各宗派の本山などで開催させていただくにあたりその全面的なご協力を得て当協会では研究会の開催・運営に努めております。
平成24年度（2012年度）第42回は現在までに最も多くの開催回数を誇る天台宗総本山比叡山延暦寺での開催を予定しております。

第41回目を数える本研究会は昭和45年（1970年）に財団法人仏教伝道協会の発願者である沼田恵範師所有の山荘（栃木県那須町）での研修会を始まりとしてその後徐々に規模を拡大しつつ毎年欠かさず開催されて参りました。

今回の開催までのべ2、200名の僧尼・寺族の方がた

財団法人仏教伝道協会内 実践布教研究会開催事務局までお願い致します。＊研究会への参加は僧籍をお持ちの方、寺族の方のみとさせていただきます。

過去の日本仏教の祖師がた

僧尼・寺族の方がた



(財) 仏教伝道協会

外国人留学生奨学金制度と

今後の展望

「外国人留学生奨学金制度」は、仏教研究に従事する海外からの学者・研究者または学生を支援し、それぞれが自国に帰り、日本で学んだ仏教を弘く伝道して戴きたいとの願いから、平成3年（1991年）に設立されました。毎年開催される奨学金審査委員会は平成23年度（2011年度）までに第21回を数え、のべ58名の素晴らしい人材を採用して参りました。元受給者の多くは現在、世界各国にて仏教学界の第一線で活躍されております。

この度当協会では、本誌刊行を記念し、又、今後の更なる奨学金制度の充実と発展を目指し「BDK Fellowship Association」（仏教伝道協会外国人留学生奨学金受給者組織）を新たに設立、世界で活躍の場を広げる元受給者同士、協会関係者との交流の場を提供、支援する事となりました。今後BDK Fellowship AssociationではSNSを利用した情報交換の場を設け、最新情報の共有、更なる仏教学の発展を願って新たな一歩を踏み出します。



平成23年度（2011年度）

受給者インタビュー

平成23年度（2011年度）の採用は3名。今回はその内の1名、東洋大学博士課程在籍中のチャイトンディー・プラチャツポン師とその指導教授である同大学文学部インド哲学科渡辺章悟教授にお話を伺いました。

プラチャツポンさんへの質問：

Q. 現在の研究内容を教えてください。

A. 私は Lokapadipakasara というパーリ語の文献を研究しています。この文献は14世紀にビルマの僧侶によって書かれたものです。内容としては、天国や地獄、そして歴史的宇宙論、地理的世界観について詳しく書かれたものです。この文献はビルマ、スリランカ、そしてタイなどの東南アジア各国に広く伝わっています。しかしながら現在まで写本に基づいた研究が行われていませんので研究内容の一つとして、校訂テキストを作成したいと考えております。現在はビルマ文字の写本とクメール文字の写本とを比較対照して

校訂テキストを作成しています。これらの文献の内容の多くは古い文献からの引用です。よって私はその古い文献を遡って Lokapadipakasara という文献の成立過程を明らかにしています。これが現在の研究内容です。

Q. このテーマを選ばれた理由をお聞かせ下さい。

A. もともと私は地獄の事や天界の事について、例えば死後の世界はどうなるのか、この宇宙はどういうものなのかと言うことに強く興味を抱いていました。仏教文献の中にもこれらの事が説かれていますので、これについて研究しようと思いました。

Q. BDK Fellowship 受給後の展望をお聞かせ下さい。

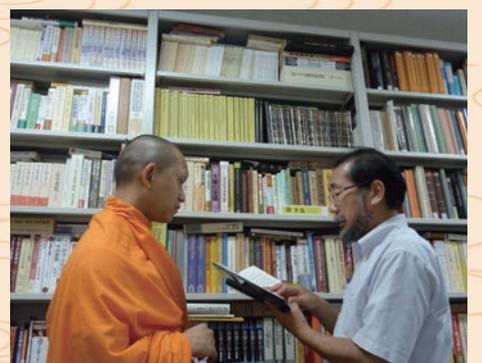
A. これまで受給した奨学金は主に生活費・研究経費として使わせていただいております。残りは将来の研究資金とさせていたたくつもりです。BDK Fellowship 受給後はその資金を元に母国タイへ戻り仏教大学の教員をしながら更に仏教文献の研究を続けたいと思っています。現在はパーリ語文献を中心に研

究していますので今後は漢訳文献、サンスクリット文献、チベット語文献まで範囲を拡大して研究を深めようと思っています。

渡辺先生への質問：

Q. プラチャツポンさんの現在までの研究成果をどのように評価されますか？又今後どのような成果を期待されますか？

A. 実際に研究というのは大学院に入ってからになります。彼は南方仏教の宇宙観（コスモロジー）等を研究しています。宇宙論や世界観は南方仏教だけではなくチベットの伝承や漢訳など違った伝承もあります。南方・北方両者の伝承を見ますと北方仏教の伝承の研究は世界でも進んでいるのです。ところが、南方仏教の伝承を見ますと、



学問的な展開はあまりなかった
のですね。ですから、そのよう
な分野の研究は将来新しい研究
分野を開拓するという意味でも
意義があることです。又比較研
究を含め様々な広がりも生まれ
てくると思います。

修士論文を書かれた当時、大学
院には日本人を含め仏教学専攻
の学生が4、5名おりました。し
かし、プラチャツポンさんの論
文は抜群でしたので当大学の「
仏教学修士論文優秀賞」を受賞
されました。また大学院全体の
論文審査でも賞を受けておりま
す。これは私たち指導教授はも
ちろんですが留学生である彼の
努力に対する周囲の評価でもあ
りました。特に彼の研究姿勢が
大変素晴らしいと思います。例
えば、「ここまでやってきて下さ
い。調べてきて下さい」と言っ
ても、なかなか言われたことを
全てやってくる人は居ませんが、
プラチャツポンさんは文字通り
全てやってきました。また、プ
ラチャツポンさんは語学に秀で
ています。現在私のクラスでは
何年か前にチベットで発見され
たサンスクリットの『維摩経』
を読んでおります。サンスクリッ

ト語や漢訳を使用しながら読み
すすめていくのですが日本の学
生はプラチャツポンさんの語学
力に驚かされていました。彼に
は語学のセンスと向上心の両方
が備わっているのだと思います。

Q. 先生からご覧になって BDK
Fellowship の良い点はどこだと
思われますか？

A. プラチャツポンさんも先程
仰っていました。なかなか外
国の方が物価の高い日本で暮ら
す事は大変です。また、こう
いった方々の奨学金受給の機会
というのもそんなにはないと思
います。それぞれの大学で支給
できるものもそう多くはありま
せん。プラチャツポンさんも以
前、校友会の奨学金をもらって
いましたが、そちらも受給期間
は一年間限定でした。よって恒
常的に研究を続けるというのは
難しいと思います。もし彼が僧
侶として寺院で生活すれば、経
済的には研究可能ですが、寺に
いけば寺の仕事をしなければな
りませんので研究のみに専念す
ることはなかなか難しい事です。
そのような意味でも、プラチャツ
ポンさんへの BDK Fellowship

支給は大変大きな意義がありま
す。一般的に申しましても外
国籍の方が日本で勉強するとい
うのは大変なことだと思いま
す。そういった意味では、BDK
Fellowship は非常に有難い制度
だと思えます。実際に留学生の
方が母国に帰って教員になる確
率が非常に高いですし、その繋
がりを通して活かしながら最終
的には将来の仏教学研究の飛躍
にも繋がっているという事にな
りますから、BDK Fellowship は
社会的にも重要な役割を果たし
ています。

Q. 今後受給を希望される学生・
研究者へのアドバイスをお願い
致します。

A. 自分の研究をまず基本的なと
ころから始めて、そして学位に
繋がるように研究を地道に続け
ていくこと、これに尽きます。
あとは個人的な見解ですが、奨
学金を支給する仏教伝道協会も
受給者との繋がりを更に深め、
また広めていくことで、仏教伝
道に繋げていって欲しいと思
います。
※本奨学金制度の詳細は当協会
ウェブサイトをご参照下さい

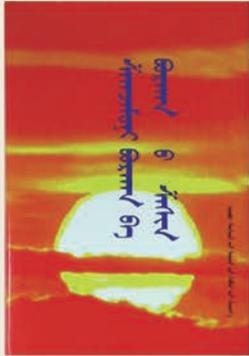


ゲスト
東洋大学博士後期課程在籍チャイトンデー・プラチャツポン師
(写真左)
同指導教授東洋大学文学部インド哲学科教授渡辺章悟先生
(写真右)
質問者
財団法人仏教伝道協会 江口郁 同 大來尚順
(東洋大学白山キャンパス・渡辺章悟先生研究室にて)

2010年～2011年 新刊書籍

お問い合わせ：(財) 仏教伝道協会 聖典普及事業部 (TEL 03-3455-5853)

『モンゴル文字モンゴル語仏教聖典』(2010年6月刊行)
 翻訳 46 言語目にあたるモンゴル文字モンゴル語仏教聖典
 は中華人民共和国にて印刷。内モンゴル自治区の寺院の
 他、北京の大学及び高校へも頒布。



『映画監督松林宗恵 まことしやかにさりげなく』
 大住広人著 (2010年8月刊行)
 森繁久彌の「社長シリーズ」、「連合艦隊」など、生涯70
 本の作品を手がけ、海軍士官としての戦争体験ももち、



和尚と呼ばれた映画監督松林宗恵。
 法話を交え、元毎日新聞編集委員
 が辿る松林監督90年の心の軌跡。
 松林宗恵師の貴重な
 「最後のご法話」を
 収録。



平成 24 年 (2012 年) 用 『一日一訓カレンダー』
 - おもい (如意) 日光菩薩 - (2011 年 7 月刊行)



仏典や古今の名言・
 名句から 31 句を選定
 し、味わいある筆文字
 であらわした日めくり
 カレンダー。
 一日一日とめくる、
 時代を超えて語り継が
 れた先達の深い教え。
 日々の暮らしの中で
 いのちの有り難さに
 気づかされる。
 美しいカラー写真と
 ともに、海外の方に
 日本の文化をご紹介
 できるよう、英語での
 対訳を記載。
 江藤溪山筆

『新々みちしるべ - おもい (如意) 日光菩薩 -』
 一日一訓カレンダー解説書 (2011 年 7 月刊行)

毎年発行の日めくりカレンダーの文言解説書。
 仏教に学ぶ生き方とは。日々の生活のみちしるべとな
 る冊子。シリーズ最後の今回は、浄土真宗本願寺派
 光徳寺前住職 藤田徹文師にご執筆を依頼。経験豊かな
 先生の味わい深いお話をいただける一冊。来年より、
 体裁を新たに
 「みちしるべ八正道
 シリーズ」を刊行予定。



「おもい」を大切にしよう
 本書は「おもい」を大切にしようというテーマで、仏教の教えと現代の生活とを結びつける。...

『ブッタのおしえ - 「お経」のことば -』

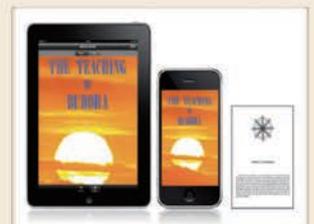
(2011 年 8 月刊行) 従来の小冊子版「仏教聖典」を大改訂。
 大きさ・デザインを一新し、文字を
 大きく、読みやすく編集。人生のささ
 え、心の依り処となるブッタの生きた
 ことばを手軽に持ち運べるポケットサ
 イズの小冊子。観光寺院を中心とした
 大寺院・学校への頒布を予定。また海
 外観光客向けに英文版を作製予定。



オレンジ：協会広告用
 緑：寄贈・販売用

『電子書籍版仏教聖典 (日本語・英語)』

(2010 年 8 月刊行)
 iPhone / iPod touch / iPad で閲覧できる「仏教聖典」。
 また多くの要望にお応えして Android 端末 (一部機種
 を除く) 対応の『電子書籍版仏教聖典 (日本語)』を
 2011 年 10 月より配信。



世界における仏教伝道協会拠点紹介

財団法人 仏教伝道協会

日本



(仏教伝道協会職員)

昭和40年(1965年)に設立された当財団は今年(2011年)で創立46周年目を迎えました。現在、事務局では沼田智秀会長のもと18名の職員が在籍、仏教精神の現代的理解を広め仏教精神文化の振興とグローバルな啓蒙活動に日々努力しております。

問い合わせ先：〒108-0014 東京都港区芝4-3-1 4 仏教伝道センタービル (6階事務局)
TEL: 03-3455-5851 (代) FAX: 03-3798-2758 E-mail: bdk@bdk.or.jp URL: http://www.bdk.or.jp

台湾仏教伝道協会



(堤理事と洪職員)

台湾における仏教伝道の活動は、昭和45年(1970年)「台北市仏学研究會」としてスタートし、当初は(株)ミットヨの代理店である星隆貿易と建大貿易が『仏教聖典』の配布活動を行って

おりました。昭和61年(1986年)に台湾ミットヨが設立され、平成12年(2000年)に社団法人「台湾仏教伝道協会」が設立、『仏教聖典』の普及活動に更なる力を入れるようになりました。理事長には台湾を代表する著名な書道家で有り、大学教授でもある張炳焯氏をお迎えし、張理事長が作成したカレンダー(写真参照)を毎年刊行、永年ご好評をいただいております。

平成22年(2010年)11月には台湾仏教伝道協会総会を実施、多くの方々にご出席を賜りました。台湾仏教伝道協会事務局は、台湾ミットヨの台北オフィス内にあり、『仏教聖典』頒布活動は関係各位の協力を得ながら理事の堤佳夫(写真左)、洪嘉敏(写真右)が担当しております。

問い合わせ先：c/o Mitutoyo Taiwan Co., LTD. 4F, No.71, Zhou Zi street, Neihu, Taipei, TAIWAN
TEL: 02-8752-3636 FAX: 02-8752-3267
E-mail: bdk@mitutoyo.com.tw

アジア仏教伝道協会



(アジア仏教伝道協会職員)

問い合わせ先：c/o Mitutoyo Asia Pacific Pte. Ltd. 24 Kallang Avenue, Mitutoyo Building, Singapore 339415 SINGAPORE 4
Tel: 6294-2211 FAX: 6299-6666
E-mail: bdk@mitutoyo.com.sg

アジア仏教伝道協会は財団法人
仏教伝道協会の東南アジアでの拠
点として昭和60年(1985年)
シンガポールに開設されました。

平成11年(1999年)12月に
はタイ・ブラパ大学内工業校正セ
ンターの開所に際しマハチャク
リ・シリンドーンタイ国王女へ
記念品として32カ国語版の『仏教
聖典』を直接寄贈させていただき
ました。又、平成13年(2001
年)9月にはタイ・ホテル協会へ
50000冊の『仏教聖典』を寄

贈、バンコク市内シリキット王女
国立会議場にてタイ・ホテル協会
副会長ご臨席のもと寄贈式典が執
り行われました。

(写真：アジア仏教伝道協会担当者)
アジア仏教伝道協会内には発願
者である沼田惠範氏の志を忘れぬ
よう特別展示コーナーを設置、理
事の松中悦夫を代表とし担当のコ
リーン・リユー(写真左)を中心
としたスタッフで今後も東南アジ
ア圏での活動を積極的に継続して
いく予定です。

米国仏教伝道協会

米国仏教伝道協会は、昭和53
年(1978年)に発願者によつ
て、仏教伝道協会の最初の海外拠
点として設立されました。主な活
動として英訳大蔵経翻訳事業の推
進、『仏教聖典』のアメリカ国内
ホテル、刑務所、公共施設へ寄贈
などの活動を積極的に行っており
ます。

学術的な支援としては「沼田仏
教講座」を米国内主要7大学(カ
リフォルニア大学バークレー校、
ハーバード大学、シカゴ大学、ハ
ワイ大学、スミス大学、米国仏教
大学院、カリフォルニア大学ロサ
ンゼルス校)に開設し、様々
な仏教のテーマに基づき構
成されるこの「沼田仏教講
座」を通してアメリカの仏
教学研究の発展に貢献して
おります。

又、新たな試みとして、「B
DK無限プロジェクト」と
いう英語及びヨーロッパ言
語の仏教研究資料のデータ
ベース化をカリフォルニア

大学バークレー校の協力を得て推
進しております。メディアへの広
告伝道活動としては、仏教のテ
レビ番組を制作し、数年間南カリ
フォルニアの地域で毎週放送致し
ました。現在、その番組をDVD
化し(DhammaNet)インターネッ
トを通して閲覧が可能となつて
おります。

米国仏教伝道協会は、現在、
理事長のブライアン・ナガタ(写
真左から二番目)を中心とした
4名の職員で米国内の様々な仏
教寺院・研究センターと協力し
仏法弘通の為、活動しております。



(ナガタ理事長と米国仏教伝道協会職員)

問い合わせ先：2620 Warring Street, Berkeley CA 94704 USA
TEL: 510-843-4128 FAX: 510-845-3409
E-mail: manager@numatacenter.com
URL: <http://www.bdkamerica.org>

ミ
シ
ガ
ポ
ー
ル

ア
メ
リ
カ

メキシコ仏教伝道協会

メキシコ仏教伝道協会（メキシコ恵光寺）は昭和60年（1985年）に設立、現在、理事長の戸高紘一（写真中央）をはじめとする5名のスタッフでメキシコ全土800軒以上のホテルの各部屋に『仏教聖典』を寄贈させていただいております。その寄贈冊数は187,000冊（平成23年9月現在）を超えております。

メキシコ恵光寺は、超宗派の単立仏教寺院として、メキシコ市を中心に活動しております。法務活動としては、毎週行われる日曜法話会、週2回の瞑想、週1回の仏教セミナー、年4回の安居合宿等が定例となっております。

おり、その他、冠婚葬祭、盂蘭盆会法要、落慶法要、法事等を行っております。平成22年（2010年）2月には仏教伝道の一環として日本の茶道や食文化を紹介する茶室【茶えん】の開業を支援、草木山河を表現した境内を観賞しながら、市井の山居で思いやりとおもてなしの布教にも努めております。又、剣道、空手道、棋道（囲碁）、ヨーガ、合気道等日本の文武活動も行っており、地域の方々がたに受け入れられる身近な活動を目指し日々務めております。



（戸高理事長とメキシコ仏教伝道協会職員）

問い合わせ先：Prolg. Eugenia No.17, Col. Nápoles, C.P. 03810 México, D.F.
 TEL / FAX: 55-5669-1088
 TEL: 55-5543-0507 / 55-5669-1089
 E-mail: bdkmexico@prodigy.net.mx

ハワイ仏教伝道協会



（タナベ理事長とウィットワース職員）

ハワイ仏教伝道協会は昭和53年（1978年）に初代理事長として約20年間ご尽力いただいたラルフ・ホングダ氏と発願者の働きかけにより、仏教伝道協会のハワイでの活動拠点として設立されました。平成3年（1991年）には現在の場所に事務局を開設、その後2代理事長である本願寺ハワイ開教区前総長の藤谷義昭師が就任、約10年に亘って活動を推進してまいりました。

平成21年（2009年）3月からハワイ大学名誉教授であるジョージ・タナベ（写真右）が第3代理事長としてその活動を引き継ぎ、今年新たに『仏教聖典』頒布責任者として曹洞宗、浄土宗などの僧籍を持つクライド・ウィットワース（写真左）を迎え更なる活動の強化を図っております。

ハワイ仏教伝道協会では『仏教聖典』をハワイ、グアム、サイパン他の寺院、ホテルやその他施設へ寄贈、地元根ざした活動を目指しハワイ大学やチャミンナーデ大学に於ける教育プログラムの支援もしております。

問い合わせ先：1757 Algaroba Street, Honolulu, HI 96826 USA
 TEL: 808-942-1511
 FAX: 808-942-2622 E-mail: bdkhawaii@gmail.com

カナダ仏教伝道協会は昭和62年（1987年）に北米に於ける仏教伝道協会の活動の重要拠点の一つとして設立されました。近年は一般個人向け以外にもカナダ国内ホテルへの『仏教聖典』寄贈活動を推進すべく積極的にホテル業界主催の展示会などに参加、米国仏教伝道協会や地元の各仏教会とも連携をとりつつ頒布活動を行っております。



(本庄理事)

又、カルガリー大学、トロント大学、マギル大学に於ける「沼田仏教講座」の開設やマクマスター大学での奨学金制度設置への支援（詳細英語記事参照）など、現在、理事の本庄康雄を中心に幅広い活動を展開しております。

問い合わせ先：c/o Mitutoyo Canada 2121 Meadowvale Blvd. Mississauga, Ont. L5N 5N1 CANADA
TEL: 905-821-1261 FAX: 905-821-4968
E-mail: bdk@mitutoyo.ca

南米仏教伝道協会



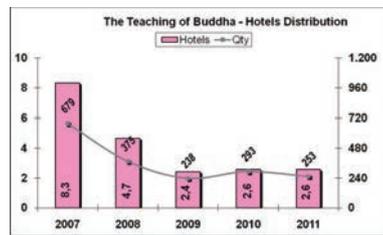
(沼田会長と水谷理事長、職員2名)

『仏教聖典』の頒布活動はホテルならびに仏教寺院への配布を主として行っております。今年（平成23年7月現在）の実績と致しましては、ホテルへの寄贈は月平均2.6件の依頼をいただき、253冊を配布、仏教寺院への寄贈は月平均1.5件の依頼をいただき、158冊の配布となっております。又、南米ミットヨ事務所内で開かれる計測セミナーや講習への参加者で興味をもたれた方がたに聖典を配布する活動も行っております。

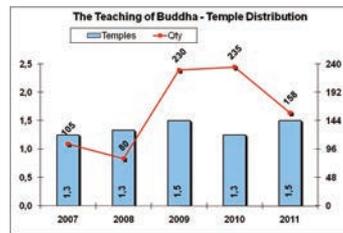
ブラジルでは平成20年（2008年）に日系移民100周年を迎え、現在日系人口は100万人を超え、その初めから始まり同時に各仏教団もその布教や人々の安穩を願ってブラジルに拠点を設立致しました。例えば浄土真宗本派本願寺南米教団は平成23年（2010年）に開教60周年を迎え、また日系人ばかりではなく、地元住民たちの間でも仏教への興味を示し、修行を実践している人たちが少なくありません。

その他の南米仏教伝道協会の活動としてブラジル機械学会に沼田恵範賞（技術賞）を設けており、更に介護福祉施設や教育機関への支援なども実施させていただいております。

問い合わせ先：A/C Mitutoyo Sul Americana LTDA. Av. João Carlos da Silva Borges, 1240 CEP 04726-002, Cx. Postal 4255, Santo Amaro, São Paulo-SP, BRAZIL
TEL: 011-5643-0006 FAX: 011-5641-3745
E-mail: bdk@mitutoyo.com.br



ホテルへの『仏教聖典』寄贈状況



仏教寺院への『仏教聖典』寄贈状況

ブラジルにおける『仏教聖典』普及は財団が認可された昭和55年（1980年）6月に始まり今年で31年が経過したことになります。現在財団は理事長の水谷隆（写真右）のほか8名で管理運営が行われております。そのうちパウラ・チエ・ウチミ（写真左から2番目）、リカルド・マサヨシ・イノウエ（写真左）が南米ミットヨ・サンパウロ事務所内にある事務局にて日常的な活動支援を担当しております。

『仏教聖典』の頒布活動はホテルならびに仏教寺院への配布を主として行っております。今年（平成23年7月現在）の実績と致しましては、ホテルへの寄贈は月平均2.6件の依頼をいただき、253冊を配布、仏教寺院への寄贈は月平均1.5件の依頼をいただき、158冊の配布となっております。又、南米ミットヨ事務所内で開かれる計測セミナーや講習への参加者で興味をもたれた方がたに聖典を配布する活動も行っております。

ブラジルでは平成20年（2008年）に日系移民100周年を迎え、現在日系人口は100万人を超え、その初めから始まり同時に各仏教団もその布教や人々の安穩を願ってブラジルに拠点を設立致しました。例えば浄土真宗本派本願寺南米教団は平成23年（2010年）に開教60周年を迎え、また日系人ばかりではなく、地元住民たちの間でも仏教への興味を示し、修行を実践している人たちが少なくありません。

その他の南米仏教伝道協会の活動としてブラジル機械学会に沼田恵範賞（技術賞）を設けており、更に介護福祉施設や教育機関への支援なども実施させていただいております。

ドイツ仏教伝道協会

ドイツ仏教伝道協会はドイツ恵光日本文化センター所長の青山隆夫（写真前列中央）を中心に恵光寺・恵光日本文化センター・恵光幼稚園を運営、恵光寺はヨーロッパ唯一の日本式仏教寺院建築として平成4年（1992年）9月に阿弥陀堂入仏慶讃法要が行われ、以来あらゆる仏教徒の心のオアシスとして仏教儀式を勤めており、境内の日本庭園と日本家屋は四季の草花の装いと共に来館者の目を楽しませております。



恵光日本文化センターは、仏教の伝統に基づく日本文化を欧州各国の人々に紹介し東西の文化交流を深めるため、学術シンポジウムの開催、機関誌『法輪』の刊行、『仏教大辞典ドイツ語版』の出版をはじめ、展示会、コンサート、日本舞踊、生け花等の文化コースにいたる様々な活動を続けております。又、ドイツ人・日本人の児童各30名が在籍する恵光幼稚園は平成11年（1999年）に開設され平和な社会をめざす国際人が育つことを念願しております。

欧州圏ホテルへの『仏教聖典』寄贈はドイツの高級ホテルチェーンSteigberger系列のホテルが主で、新規ホテル開業時には必ず先方から注文をいただいております。平成22年（2010年）度現在ハンブルク大学（ドイツ）、ライデン大学（オランダ）、ウィーン大学（オーストリア）の3大学にて「沼田仏教講座」を開設、ハンブルク大学では、イムレ・ハマー教授（エトヴェシユ・ロララント大学、ハンガリー）を招聘し、5

月1日から7月31日の学期に中国の華厳仏教をテーマとした2講義が行われました。ライデン大学では、秋学期に船山徹教授（京大文学人文科学研究所）を招聘、中国・インド仏教史に関連した内容で講義と講読が行われました。10月には「Calling Oneself a Saint: Self-designation and the Idea of the Holy in Medieval Chinese Buddhism」自称・聖者―中世中国仏教における「自称」の問題と「聖」の概念について」と題して公開講演が行われております。ウィーン大学では冬学期にヴァンサン・エルチンガー博士（オーストリア科学アカデミー）による3講義が開講され「Selbst im Buddhismus 仏教における自我」と題して行われた講義には約100名の学生が受講致しました。

（青山所長と恵光センターホテル開業時には必ず先方から注文をいただいております。平成22年（2010年）には上記に加えドイツ国内の中小規模のホテル30軒へ計2120冊の寄贈をさせていただきます。一般個人向けに

は、恵光センター訪問者への販売お問い合わせいただいた方々への有償送付が主ですが、恵光寺に於ける法事の参列者や恵光幼稚園児保護者への式典記念品としても贈呈しております。公共機関、仏教団体向けには依頼に応じて寄贈させていただきますドイツの生涯学習機関VHSでは仏教講義用の教科書として『仏教聖典』をご活用いただいております。又、平成22年（2010年）秋からはポーランド、ギリシャ両国において現地人大学生の聖典頒布ボランティアを採用し寄贈活動の推進に努めております。インターネットを活用し仏教に関心を持つ個人や団体、公共施設などに寄贈を働きかけ、今後東欧圏への普及が期待されております。

又、ドイツ仏教伝道協会では平成22年（2010年）度現在ハンブルク大学（ドイツ）、ライデン大学（オランダ）、ウィーン大学（オーストリア）の3大学にて「沼田仏教講座」を開設、ハンブルク大学では、イムレ・ハマー教授（エトヴェシユ・ロララント大学、ハンガリー）を招聘し、5

問い合わせ先: Brüggener Weg 6, 40547 Düsseldorf, F.R. GERMANY
TEL: 0211-577918-0 FAX: 0211-577918-219
E-mail: pool@eko-haus.de URL: <http://www.eko-haus.de>

ドイツ



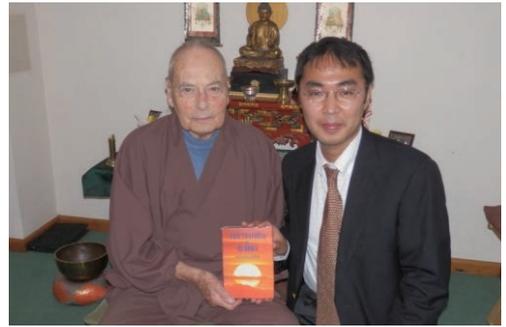
イギリス

問い合わせ先：c/o Mitutoyo (UK) Ltd.
 Joule Road, West Point Business Park,
 Andover, Hants. SP10 3UX U.K.
 TEL: 01264-353123
 FAX: 01264-354883
 E-mail: bdk@mitutoyo.co.uk

英国仏教伝道協会

英国仏教伝道協会は昭和63年(1988年)にイングランド南部ハンプシャー州アンダーバーにある英国ミットヨ本社内に設立されました。設立以来、英国内のホテル、学校、病院、刑務所等への『仏教聖典』の頒布、更にはオックスフォード大学 (Balliol College) 及びロンドン大学 (School of Oriental & African Studies) における仏教講座開設支援を主な活動と致しております。現在は主に顧問であるガンシン・ロック師(写真左)と理事の片山貴司(写真右)が二人三脚で協力しながら『仏教聖典』の普及活動を行っております。

ロック顧問 (Rev. Ganshin E. Rock)
 プロフィール



(ロック顧問と片山理事)

昭和61年(1986年)2月に千葉県印旛郡泉倉寺(一島正真住職)にて僧籍を取得。平成3年(1991年)12月より英国仏教伝道協会の嘱託顧問として英国内における『仏教聖典』の頒布活動を中心に、地元ハンプシャー州の公立学校教育課程審議委員会の(SCAA)分科会への参画や英国軍従軍僧侶任命審議会委員歴任等の活動を行っております。85歳になられた現在も地元ハンプシャー州内での仏教普及を中心に精力的に活動を続けられております。

沼田仏教学講座開設実績(2010年度)

- ・オックスフォード大学 (Balliol College)：平成22年度(2010年)は開講されず
- ・ロンドン大学 (School of Oriental & African Studies)：
 - 期間：平成23年(2011年)1月12日-3月16日
 - 講師：Tadeusz Skorupski 教授
 - タイトル：Innate Permutations of Indo-Tibetan Buddhism

『仏教聖典頒布』実績

平成22年度(2010年度)：

1,910冊(内ホテルへの寄贈：704冊)

平成23年度(2011年度)9月末現在：

1,823部(内ホテルへの寄贈：581冊)



各国語版『仏教聖典』

BDK Newsletter 道みち

No. 1 -2011年版-

平成23年(2011年)12月12日刊行

発行：財団法人 仏教伝道協会

住所：〒108-0014 東京都港区芝4-3-14

電話：03-3455-5851 (代)

FAX：03-3798-2758

印刷：株式会社 アーク

編集：財団法人 仏教伝道協会 (江口 郁)

本文デザイン：久世 廣泰

表紙デザイン：株式会社 アーク (田所 淳一)

写真協力：小林 康利

海外拠点主要ニュース2011

東日本大震災追悼式典・チャリティイベント（ドイツ）

ドイツ恵光日本文化センターでは、地震・津波犠牲者の追悼法要を執り行うとともに、義捐金専用口座を開設し、現地の日本人クラブや在独日本人音楽家との協力によるチャリティコンサート開催などを通して被災地支援の募金活動に取り組んでおります。

震災発生から2日後、3月13日の日曜勤行に追悼法要を計画し、有縁の方がたにご案内を差し上げたと、在デュッセルドルフ日本国総領事館総領事・小井沼紀芳夫妻、ベルギーから浄土真宗寺院



慈光寺信徒の方々にもご参列いただきました。勤行後に義捐金への協力を呼びかけご参列の皆様より約1,300ユーロを頂戴致しました。

更に3月19日の彼岸会にも追悼法要を勤修して記帳と義捐金を受け付ける旨、現地の新聞等で呼びかけたところ、当日は満堂のご参拝を賜りました。翌20日にも多くの方々が訪れ、両日のみで1,000人を超える弔問があり、義捐金5,700ユーロと700名分を超える記帳が集まりました。

3月27日には、ノルトライン・ヴェストファーレン (NRW) 州政府主催による日独合同の大震災追悼式典が同市内の北公園で執り行われ、クラフト・NRW州首相、エルバース・デュッセルドルフ上級市長、小井沼紀芳・総領事ら出席のもと、500人超の人々が集まって祈りを捧げました。法要は、

キリスト教、仏教の合同により宗教の枠を超えた形式で営まれ、仏教徒を代表して恵光センターより青山、山田2名の僧侶が読経され、仏式の法要を執り行ないました。

年内の期限内で開設した義捐金専用口座には、多くの個人や企業・団体から多額の御寄付をいただきました。追悼法要やチャリティイベント開催で集まった義捐金と合わせ総額が38,000ユーロに達しましたので、8月に現地の慈善団体を通して宮城県内で被災地支援に取り組むNPO団体「みやぎ・わらすっこプロジェクト」と「ビューマンネット」に分割して送らせていただきました。

当センターと致しましては、過性の活動にとどまらず、た方がたの苦しみに寄り添いたいと考え、引き続き支援を続けてまいりたいと考えております。



日独修好150周年記念行事（ドイツ）

ドイツ恵光センターにて池坊華道展とデモンストレーション



お家元とともに花展を見学する沼田会長



開会式でのテープカット

日独修好150周年を記念し、平成23年（2011年）6月18日・19日の2日間に亘り、恵光日本文化センターにおいて池坊華道展とデモンストレーションが開催されました。花展では、華道家元四十五世池坊専永氏をはじめ、日本全国から参加した池坊会員、そしてドイツやヨーロッパ中から集まった池坊会員の作品が100点以上展示されました。

「いけばな」は日本の伝統文化の一つであり、単に美しい花を花器に生け込むだけではなく、自然の生命と人の心が表現される芸術です。そのいけばなの根源と呼ばれる池坊は京都の六角堂（紫雲山頂法寺）にあり、日本でもっとも歴史ある流派としてすでに15世紀には確立されています。

平成4年（1992年）に（財）仏教伝道協会が設立したドイツ・デュッセルドルフのドイツ恵光日本文化センターは、欧州と日本の交流を促進し相互理解を深めるため、いけばな・日本舞踊・茶道など様々な文化活動を続けており、センターにおける池坊いけばな

コースは、日本から渡邊絹代先生を招き、18年間継続しています。

花展の開会式は、恵光寺阿弥陀堂にて開かれ、沼田智秀仏教伝道協会会長が挨拶。3月の震災に対するドイツからの積極的な支援に感謝し、センターでの池坊行事を一つの節目としてさらに日独文化交流が発展することを願いました。来賓からの挨拶の後、神余日本国大使、小井沼総領事、NRZ州事務次官オイマン氏、デュッセルドルフ市参事フィルス氏、そしてお家元の池坊専永氏などによるテープカットが行われました。開会式に続き、池坊専永氏が、いけばなのデモンストレーションを披露。ユーモアあふれるお話を交え明るく和やかな雰囲気の中、素晴らしい作品が紹介され、池坊特別派遣教授・野田学氏によるデモンストレーションが続けられました。

池坊華道展への来場者は2日間で1,000名を越え、大好評の内に開催終了となりました。

茶室【茶えん】開業（メキシコ）

平成22年（2010年）2月7日、メキシコ仏教伝道協会（メキシコ恵光寺）が支援する日本茶喫茶兼日本食処並びに茶室【茶えん】が開業致しました。仏教伝道の一環として、おもてなしとおもいやりを、日本の茶道と食文化を通してメキシコの皆さまに出来るだけ幅広くご紹介しようという試みです。

メキシコ恵光寺は、住宅街とオフィス街とに囲まれており、この地域に集まる様々な方には是非お寺の存在を知ってもらい仏教を身近に感じていただこうという思いで【茶えん】開業の支援を致しました。

主にお出ししている日本茶は鹿児島産の緑茶で、メキシコ中探してもここぞしか嗜めません。スタッフは全てメキシコ恵光寺信徒の方がたです。お蔭様で日本人のお客さまには本場の日本食と緑茶が楽しめるの、高い評価をいただき、メキシコ人のお客さまにもお茶を通じて気軽に日本文化に触れられると、ご好評をいただいております。

※【茶えん】に関するお問い合わせはメキシコ仏教伝道協会までお願い致します



【茶えん】開業記念イベントにて



沼田智秀会長―BSより名誉博士号を授与（アメリカ）

財団法人 仏教伝道協会 沼田智秀会長（株式会社ミットヨ相談役）が平成23年（2011年）7月14日、米国カリフォルニア州バークレーにある米国仏教大学院大学（以下BS）より名誉博士号を授与されました。

BSは、米国において最も古い仏教学校で、龍谷大学と提携しており、神学大学院連合（Graduate Theological Union）に仏教専門学科として加盟しています。

沼田会長は、世界仏教伝道に尽力するリーダーシップと米国内における仏教学研究の発展とBSへの多大な貢献が評価され、仏教伝道協会としてもBS開校当初より沼田仏教講座の設立し支援して



沼田会長受賞風景

まいりました。

名誉博士号授与式は、浄土真宗本願寺派 北米開教区（別称：米国仏教団 / Buddhist Church of America）の小杭好臣総長（兼BS学院長）とBS学部長のリチャード・ペイン教授出席の下、ミットヨアメリカ本社（イリノイ州シカゴ）の祖先祭（毎月1度、全従業員が仏壇の前に集ま

第1回沼田智秀仏教書籍最優秀賞

受賞者決定（アメリカ）

西洋社会での更なる仏教学の振興と支援をすすめる為、財団法人 仏教伝道協会では平成21年（2009年）に「沼田智秀仏教書籍最優秀賞」を設置致しました。

同賞は米国・カリフォルニア大学バークレー校にある仏教学センターによって取りまとめられ、専門委員会により今年度、栄えある第1回の受賞者を選出する運びとなりました。『沼田智秀仏教書籍最優秀賞』では受賞者へ賞金（10,000米ドル）を授与、又、カリフォルニア大学バークレー校では受賞者による特別公開講義や

り、それぞれの先祖に感謝する儀式）の中で開催されました。およそ100名のミットヨ社員と関係者が臨席する中、小杭総長とペイン学部長により、名誉博士号が授与されました。

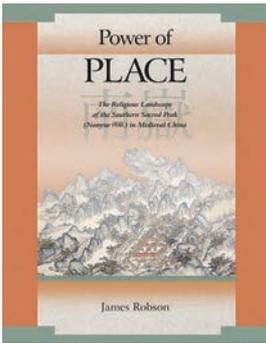
ペイン学部長は、祝辞の中で、今日に至るまでの仏教伝道協会との関係をお話しになり、多大な支援に対し感謝の言葉を述べられました。

した。

沼田会長は、答辞の中で「この素晴らしい榮譽は、私一人に与えられたものではなく、今日までご協力をいただき、支えて下さった方々、みんなで共に受賞したものと感謝しております」と述べられ、米国内での仏教伝道活動を支えるミットヨアメリカ社員と共に受賞の喜びを分かち合われました。

受賞書についての討論会などが行われました。

第1回の受賞作品はハーバード大学のジェームス・ロブソン教授著書、『The Religious Landscape of the Southern Sacred Peak (Nanyu) in Medieval China（ハーバード大学アジアセンターより2009年刊行）です。審査委員会はロブソン氏の著書を「哲学的、歴史的に正確かつ理論的にも大変洗練された斬新な作品」であるとともに「後世に残る仏教書の基準となるべく作品」と評価し今回の受賞となりました。



（写真右：ロブソン教授）

（写真左：著書）